

「核兵器全面禁止のアピール」への賛同者リスト（各々50音順）

2011年2月～2013年4月18日現在

【被爆者】	
岩田 守雄(広島)	「若し、核兵器使用という非人道的犯罪行為が実行されるなら、私たち被爆者が身体的精神的苦痛苦悩と戦いながら、放射能被害者として生きてきたこの66年間は余りにも空し過ぎる。今後の地球平和を担う若者たちに私たちのこの苦悩を決して体験させてはならないと願う。核兵器全面禁止の実現、少なくともその道筋だけは確認して逝きたいと願う。」2011年2月
岩本 晋(財団法人山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑理事長)	2011年2月
大石 又七(ビキニ被爆者)	「核大国のオバマ・アメリカ大統領も核兵器が怖くなってきたようです。廃絶、頑張りましょう。」2011年2月
大越 和郎(広島県原爆被害者団体協議会事務局長)	2011年2月
大中 伸一(広島県被爆二・三世の会副会長)	「被爆者の高齢化に伴い、私たち被爆二・三世が被爆体験を語りつぐ時代に入ります。がんばりたいと思います。」2011年2月
岡田 黎子(広島県)	「福島原発事故に対する当局の対処の鈍さと、人体への被害についての過小報道に、核の脅威の風化を切実に感じました。唯一の被爆国でさえ、この現状、私たちが生きているうちに核を地球上から永久になくしたいものです。『戦争という殺人で平和を!』という愚かな方向を封じたいものです。」2011年6月
奥尾 秀之(広島県被爆二・三世の会事務局長)	2011年2月
金子 一士(広島県被団協理事長)	「『核兵器全面禁止のアピール』署名の目標を定め、草の根大運動を展開しよう。」2011年2月
川本 司郎(静岡県原水爆被害者の会会長)	2011年2月
木戸 季市(日本被団協事務局次長)	「被爆者が生きているうちに一日も早い核兵器の廃絶を！」2011年2月
木村 緋紗子(宮城県原爆被害者の会事務局長)	「2010年の夏、国連潘基文事務総長は被爆地で『被爆者の生きているうちに』核廃絶を実現しようと明言しました。われわれ被爆者は永きにわたり先頭にたち、『ふたたび広島・長崎をくり返してはならない』と世界によびかけてきました。それが早急実現することを望むものです。」2011年2月
久保山 栄典(埼玉・しらさぎ会副会長)	2011年2月
児玉 三智子(日本被団協事務局次長)	「1、国の内外に被爆の実相を広く伝えることが今いちだんと重要になっています。被爆者のひとりとして、力をつくしたいと思っています。1、被爆国としての国の立ち位置をはっきりさせ、世界に国として発信させること。」2011年2月
小西 悟(被爆者、東京都立大学名誉教授)	2011年2月

竹田 国康（山口県原爆被害者団体協議会）	2011年2月
田中 熙巳（日本被団協事務局長）	2011年2月
谷口 稜曄（長崎原爆被災者協議会会長、日本被団協代表委員）	2011年2月
伊達 みえこ（被爆者・俳人）	「核兵器全面禁止が実現するまで私の戦後は終わりません。心より賛同し、微力を尽くします。」2011年2月
坪井 直（広島県被団協理事長）	「むかし、ウランは自然界にあって一鉱石に過ぎ、人間を敵として害することはなかった。今は、コントロールのできない人間の知恵が核爆弾を生んだ。地球の生物を皆殺しにするサタンなのだ。その必殺には全人類のスクラム（団結）しかない。」2011年2月
中島 辰和（山梨県原水爆被害者の会事務局長）	「被曝者の一人として。再び同じ苦しみを持つ人をつくることは一切許されません。昨年の福島原発事故で日本人ばかりでなく世界の人々がパニックになりました。核兵器が使われたときは原発事故の比ではないですよ。世界の人々の協調で核兵器を廃絶しましょう。」2012年2月
永原 誠（京都原水爆被災者懇談会世話人代表）	「原発事故のおそろしさが、原爆のおそろしさを改めて皆の目を向けさせますように。」2012年2月
原 明範（埼玉・しらすぎ会副会長）	2011年2月
原田 秀一（埼玉・しらすぎ会副会長）	2011年2月
伴 智（兵庫県原爆被害者団体協議会理事長）	「僅か一個の原子爆弾が、広島・長崎の数万～数十万の市民の生命、財産、父母、兄弟友人を根こそぎ奪ったあの悲惨の状況を被爆者を通して肝に銘じ、たとえ戦争といえども原子爆弾を武器として絶対に使用しないと、原爆を持つ国々が、こぞって誓って欲しい。」2011年2月
肥田 舜太郎（被爆者、医師）	2011年6月
藤井 照子（被爆者、福山市在住）	「『核兵器全面禁止』。私たちは必ず世界から核兵器を無くして、無意味な戦争を二度とくり返すべきではないと強く要望します。私は16才から17才まで軍都の輸送が大事だと、女学生でありながら広島電鉄の運転手として国のためにと頑張り、駅前で被爆しました。現在は、甲状腺機能低下症で死ぬまで治療します。」2011年2月
古田 光恵（広島県被団協副理事長、広島県被爆二・三世の会副会長）	2011年2月
星埜 惇（福島県原爆被害者協議会事務局長・福島大学名誉教授）	「新たな署名が広く世界に拡大し、核廃絶への動きをさらに確実なものとするのを期待しております。」2011年2月
森本 頌子（広島・被爆者）	「被爆者のみならず人類みんなの願い。保有国は核に頼らない平和を考えよ！」2011年2月
山田 舜（福島県原爆被害者協議会会長）	2011年2月

山本 英典 (日本被団協事務局次長、東友会副会長)	「『アピール』を実効力のあるものとするため、国際条約の締結、国内的には『再び核戦争の惨禍がおこることのないよう』国内法の整備を求めます。」2011年2月
吉岡 幸雄 (広島県被団協副理事長)	2011年2月
渡辺 力人 (広島県被団協副理事長)	2011年2月
【音楽】	
上條 恒彦 (歌手、俳優)	2011年6月
梅原 司平 (シンガーソングライター)	「人は幸せになるために生まれてきました。核兵器のない時代を願って創った「折り鶴」の歌も、今年で生まれてから30年目になります。「折り鶴」が世界にはばたくよう心から願っています。」2012年5月
亀淵 友香 (歌手、ザ・ヴォイス・オブ・ジャパン代表)	「世界は今、人間の弱さが目立ち、すっかり豊かさが消えてしまいました。私もその一人なのかもしれません。尊い先祖の気高い志、又、魂の在りかたを忘れず進歩を続ける為にも、先ず私達の生命を守らなければなりません。核兵器廃絶に賛成致します。」2011年6月
クミコ (歌手)	「人の手で作り出された『悪魔』は人の手で葬らねばなりません。それが人の『叡智』です。」2011年2月
小林 亜星 (作曲家)	「核兵器こそ人類最大の悪徳である。」2011年2月
さとう 宗幸 (歌手)	2011年6月
沢田 研二 (歌手)	2011年2月
田中 信昭 (音楽家)	2011年2月
千葉 佳子 (広島オペラアンサンブル代表)	2011年6月
元 ちとせ (歌手)	2011年2月
松野 迅 (ヴァイオリニスト)	「人類がつちかってきた文明・文化と核兵器は対極に在ります。平和は人権です。」2011年2月
湯川 れい子 (音楽評論・作詞)	2011年2月
横井 久美子 (シンガーソングライター)	2011年6月
【映画監督・映像関係者】	
有原 誠治 (アニメーション演出家)	「核(放射線)による汚染は私たちの生存を脅かしています。一日も早い全面禁止しかありません。」2011年2月
大澤 豊 (映画監督)	「憲法9条を持ち、非核三原則を国是とする被爆国日本(人)ならばこそ、国際社会の先頭にたつて核兵器廃絶の世論を高めていかなくてはなりません。」2011年2月

片桐 直樹 (映画監督)	「人類の生存と安全のために一日も早い核兵器廃絶を！」2011年2月
鎌仲 ひとみ (映像作家)	「核兵器を今、この時代にどこで使うのか？使えるわけがない。原発ごみから作る劣化ウラン弾は使う者も使われるものも等しく被曝を蒙る。それでも核兵器が戦争の抑止力になると信じている人々は放射能汚染の影響を真に理解していないと思う。愚かさからの脱皮、それが核兵器廃絶の意味。」2011年11月
神山 征二郎 (映画監督)	「核兵器を使った結果がどのようなものかを私たちは肝に銘じて知っている。だからそれを知らない、または知ろうとしない者たちに何度でも語り続けなければならないのです。」2011年2月
小泉 洋幸 (長崎県映画センター理事長)	「あきらめず、しぶとく、しなやかに、核兵器廃絶までがんばりましょう」2011年6月
羽田 澄子 (記録映画作家)	「核兵器は人類が人類を滅ぼすことができる兵器です。人類は核兵器を持たない平和な世界をつくらねばと思います。」2011年2月
日向寺 太郎 (映画監督)	2013年4月
山田 洋次 (映画監督)	2011年2月
【映画/演劇・芸能】	
嵐 圭史 (俳優)	2012年2月
有馬 理恵 (舞台女優)	「人類は必ず平和を達成できる！」2011年2月
いまむら いずみ (女優)	2012年2月
鷗沢 秀行 (俳優)	2012年1月
大原 穰子 (方言指導)	「地球上から核のなくなる日まで『核兵器廃絶』の声をあげ続けます。」2011年2月
金子 幸枝 (俳優・創作)	「核兵器は廃絶し、原発は廃絶し、軍事力は小さくして、限りある地球の資源を大事にして、人がみな生きられる世の中になるまでやれることをやり尽くしましょう。」2012年1月
神田 香織 (講談師)	「「はだしのゲン」を語って25年、「チェルノブイリの祈り」を語り始めて9年目、なのに故郷福島が史上最悪の原発事故に見舞われてしまい、悔しくてたまりません。核兵器も原発も人間の手に負えません！「核」はもうたくさん！世界中で繋がればきっと止められる、そう信じてこれからも、怒りを込めて元気に語り続けます。」2011年12月
小竹 伊津子 (俳優)	「広島・長崎・ビキニでの水爆実験、そして昨年原発大事故と、四度の核と放射能の計り知れない酷い実体を私たち日本人は現在も体験し抱えています。世界に向けて、核兵器全面禁止の声を!!」2012年2月
今野 鶏三 (俳優)	「人間が“開発”してはならなかった極悪の兵器は、人間が一日も早く無くさなければなりません。」2012年2月
佐々木 愛 (俳優)	「核兵器廃絶は、戦争を体験した今は亡き、良心の願い、私も引き継いでいきます。」2011年6月

佐々木 章夫 (俳優)	「ヒロシマ・ナガサキを経験している日本が、今回は福島第一原発の爆発事故という体験をした。核の恐ろしさを改めて感じ、核兵器を先ず破棄しなくては。」2012年1月
しろたにまもる (腹話術師)	2011年6月
杉 良太郎 (俳優、日本ベトナム特別大使)	「1970年、広島・長崎の原爆病院を慰問いたしました。当時の悲惨な状況は今もって改善されておられません。即、政府が改善に向けた努力をしていただきたいと、熱望いたします。」2011年6月
鈴木 瑞穂 (俳優)	「人間存在を全否定するのが、核兵器です。」2011年2月
関 眞知子 (俳優)	「ノーベル平和賞受賞者が広島で献花する姿に証少々ほっとしました。なんだかこの頃危ういオバマ大統領に平和記念館に来て欲しいですね。自分にとっては何が出来るか絶えず考えることが大切ですね。」2012年3月
宝田 明 (俳優)	「1954年、第五福竜丸の被爆を土台にした核実験の恐ろしさを描いたのが、その年の11月に封切られた『ゴジラ』第一作でした。人間を脅かす加害者であるゴジラもまた核競争の被害者でした。昨年、シカゴのゴジラ上映会に参加しましたが、米国人も今は反核の叫びを理解されて来たようです。」2011年2月
滝田 栄 (俳優)	「人間は愚かの象徴・核兵器を今こそなくそう！」2011年2月
滝田 裕介 (俳優)	「世界で唯一の被爆国である日本だからこそ『核兵器全面禁止のアピール』をリードして世界を平和に向って導きましょう！」2011年2月
十朱 幸代 (女優)	2011年2月
中原 ひとみ (俳優)	2011年2月
奈良岡 朋子 (俳優)	2011年6月
松山 政路 (俳優)	「核兵器は人類が造った最悪の物です。」2011年2月
山本 太郎 (俳優)	「今、やるしかない。」2012年5月
吉永 小百合 (俳優)	「核兵器のない世界を、平和な地球をみんなで実現させましょう！」2011年2月
【演出家・脚本家】	
小山内 美江子 (脚本家)	「原発は核兵器と同じものでした。地球の生物のすべてが死に絶えるであろう核兵器は即刻廃棄すべきです。」2011年7月
栗木 英章 (劇作家)	「核兵器全面禁止のため主に文化活動を通して全力を尽くします。」2012年3月
ジェームス三木 (脚本家)	「核兵器の廃絶は人類の存亡に関わる問題です。」2011年2月
鈴木 龍男 (演出家)	「核兵器、原発とも、ゼロにしていきたいと思います。」2012年1月
津上 忠 (劇作・演出家)	2011年2月

【作家・文学・評論家】	
赤瀬川 隼 (作家)	2011年2月
在田 正義 (海事・海難アナリスト)	「核のない世界、原発のない世界の実現を！！」2012年2月
稲沢 潤子 (作家、日本民主主義文学会副会長)	「被爆国日本は、世界の核兵器廃絶に率先して力を尽くすべきと思います。」2011年6月
岩崎 京子 (児童文学者)	「私は、戦前に生まれ、戦中をばっちり過ごしました。歴史の証人として、証言していきたいと思っています。」2011年2月
大江 健三郎 (作家、ノーベル文学賞受賞)	2011年2月
大浦 ふみ子 (作家)	「アメリカの核の傘にしがみつく日本政府は、原爆投下をもたらしたあの戦争への反省がない—としか言いようがありません。」2011年2月
木村 梢 (エッセイスト)	「広島・長崎のあの日を鮮明に覚えている世代として全面禁止のアピールに賛同します。」2011年2月
早乙女 勝元 (作家)	「全面禁止はもちろんのことですが、軍縮に軍縮を、軍事力のない(憲法9条)未来へと、力強く前進してください。」2011年2月
澤田 章子 (文芸評論家)	「人間が地球に住み続けるために、何が最も大きな障碍かといえば、それは『核』です。世界の全ての国が核兵器を放棄したときに平和が現実のものとして見えてくるにちがいません。」2011年2月
田島 一 (作家)	「核兵器のない世界の実現に向けて、国際的な世論のいっそうの盛り上がりをつくっていきましょう。」2012年2月
戸石 四郎 (著述業)	「核兵器も原発もゼロの非核の国・世界をめざそう！」2012年2月
戸川 昌子 (作家/歌手)	2012年1月
新船 海三郎 (文芸評論家)	2011年6月
瀬戸内 寂聴 (作家、僧侶)	2011年2月
永井 路子 (小説家)	2011年2月
那須 正幹 (作家)	「核兵器は現実的に使用不可能な武器であるばかりでなく、保有するだけで国際的バッシングを受けますし、兵器の維持費も馬鹿になりません。こんな役立たずの兵器はさっさと捨ててしましましょう。」2011年2月
林 京子 (著述業)	「核兵器と生命の共存は不可能です。その事実、広島・長崎の被爆者によって知らされましたが、生きている人・これから生きていく人類のために全面禁止を願います。」2011年2月
平瀬 誠一 (作家)	「核兵器のない世界の平和と安全をただちに達成しよう！」2011年2月
三浦 精 (児童文学者)	「同じ『核兵器のない世界』の呼びかけでも、国連の潘基文事務総長は『被爆者が生きているうちに実現を』といい、オバマ米大統領は『自分が生きているうちは無理かも』といい、核兵器のない世界を願う切実さの違いを見た思いでした。」2011年2月

宮寺 清一（作家）	2011年6月
山崎 朋子（女性史研究者）	「何十回でも何百回でも、『全面禁止』を主張しつづけます。私たちは決して諦めません。」2011年2月
吉開 那津子（作家）	2011年2月
【詩人・歌人・俳人】	
浅尾 忠男（詩人）	「被爆の心で核廃絶を！」2011年2月
稲木 信夫（詩人、全国革新懇世話人）	「核兵器廃絶へ、国民の声を広げよう」2011年6月
石川 貞夫（俳人）	「俳人も毎年、長崎、広島、京都、東京などで、反核、平和のための俳句大会を開いております。私の関わる原爆忌東京俳句大会は、今年43回目を迎えます。共に粘り強く頑張りましょう。」2012年2月
碓田のぼる（歌人）	「東北震災と同時に起きた福島原発事故はあらためて核兵器の恐ろしさと結びついています。これまでとちがった深刻な思いで核兵器全面禁止のアピールをくり返し読んでいます。」2011年6月
金子 兜太（俳人）	2011年2月
城 侑（詩人）	2011年6月
瀬野 とし（詩人）	「フクシマの原発事故は、核物質のおそろしさを再確認させられました。核兵器は当然、全面禁止すべきです。」2012年2月
辻 健隆（詩人）	2011年6月
土井 大助（詩人会議顧問）	「今年こそ核兵器全面禁止の実現を歴史に刻み込みたいものです。」2011年2月
森崎 和江（詩人・作家）	「『核兵器全面禁止』を地球上のすべての国の人びとに願いたい思いです。重ねて昨年は東日本大震災と福島原発事故を日本の私たちは体験しました。ヒロシマ・ナガサキ、そしてフクシマ。明日の地球のために、まずは、『核兵器全面禁止のアピール』を！！」2012年1月
【スポーツ】	
栗岩 恵一（全国勤労者スキー協議会会長）	「貴会の運動は『スポーツは平和とともに』を掲げている私たちの方針と一致します。」2011年6月
小林 秀一（プロボクシング・元日本ウェルター級チャンピオン）	「日本と世界の人々と手をむすび、核兵器のない世界を実現しましょう。」2011年2月
張本 勲（プロ野球名球会）	「世界平和の為、核兵器廃絶を！！」2011年2月
【写真家】	
石川 文洋（写真家）	「一人の命はとても大切です。それなのに、大勢の人をいちどに殺す核兵器の存在を認める人は頭がどうかしていると思います。」2011年2月

小池 汪 (写真家)	「核兵器は廃絶！！核の力を完全に制御できない人類は、いまその力を持ってはならぬ。使ってはならぬ。」2012年1月
小松 健一 (写真家、「反核写真運動」運営委員)	「地球上からすべての核兵器をなくすのは、人類の責任！」2011年2月
白簾 史朗 (写真家)	「今更ながら論議の必要なしと存じます。禁止に全面的に賛同のみです。」2011年2月
丹野 章 (写真家)	「どんな状況でも、核による攻撃は人類にとって『極悪』の行為だということを確認し合う必要があると思います。」2011年2月
奈路 広 (写真家)	「核保有国は廃絶を率先して宣言すべし。日本にある米軍『基地』は『危地』と表現。」2012年2月
【美術家】	
伊藤 正昭 (画家)	「核兵器廃絶！原発ゼロ！戦争のない世界を！」2012年1月
岡野 良平 (画家、日本美術会会員)	「核兵器は廃絶です。抑止力なんぞとバカなことを言っている場合ではありません。世界で一つしかない原爆被害を受けた日本人として叫びます。『核兵器全面禁止』を！」2011年2月
奥村 昭雄 (建築家)	「ストックホルムアピールを再現しましょう。」2012年2月
笠貫 弘子 (具象美術会事務局長)	「人類と核兵器は共存できない。だから、未来を生きる子どもたちに、核兵器が完全になくなるまで、私たちには責任がある。私は絵で訴えていきます。」2012年1月
西念 秋夫 (西念陶器研究所・陶工)	核兵器は人類をほろぼす。平和は地球をすくう。2012年3月
佐藤 英太郎 (伝統こけし工人・写真家)	2012年2月
友成 光臣 (画家)	「核兵器はもちろん、原発そのものも全廃すべきです。」2012年1月
野見山 暁治 (画家)	「人間の手で造ったものは、人間が責任を持たねばなりません。」2012年1月
堀 文子 (画家)	「小国が核兵器を持つ事を禁止しながら自分は核廃絶をしない大国の態度を許さない事を世界に訴えます。」2012年1月
美濃部 民子 (画家)	「『核兵器全面禁止のアピール』に心から賛同致します。」2012年2月
宮本 和郎 (日本画家)	「人間が人間を殺す戦争、とりわけ核兵器は一刻も早くこの世から無くすよう、力を併せてゆきたいと思います。」2011年2月
宮崎 喜恵 (日本画家・大分県美術協会委員・元大阪水彩連盟審査委員)	「原爆反対をうったえることは一生の仕事と思っています。」2012年1月
宮良 瑛子 (沖縄女流美術家協会顧問)	「核兵器も原発もない自然ゆたかな社会を取りもどしましょう。」2012年5月

【学 術】	
鱒坂 真（関西大学名誉教授）	「すべての原爆も原発もなくする方向に前進する年にしなければなりません。原水禁運動の前進を願ってやみません。」2012年2月
鱒坂 学（同志社大学教授）	「どこかで核兵器が使用される可能性が高まっているように思え、心配です。」2012年3月
荒井 献（東京大学名誉教授）	2011年2月
荒木 繁（和光大学名誉教授）	2012年2月
荒木 豊	「平和と「核」は両立できない。現在の人間には核を自由に制御できるレベルにないのだ。ましてや紛争に核を使うなどという事は地球環境と人類を滅亡へと導くことだ。」2012年3月
安齋 育郎（立命館大学特命教授・名誉教授、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長）	「古稀になっても安全な未来は欲しい。古稀老は孫の世代の安全を心より希い、行動する。」2011年2月
池住 義憲（立教大学大学院教授）	2012年2月
池田 功（福井大学教員）	2011年6月
五十嵐 仁（法政大学教授）	2012年2月
石井 潔（静岡大学理事・副学長）	2011年2月
石川 康宏（神戸女学院大学教授）	「日本政府はアメリカの『核の傘』から抜け出して、核兵器のない世界に向けた外交努力を行なうべきです。核兵器全面禁止の圧倒的な世論をつくりましょう。」2011年2月
石丸 紀興（広島国際大学教授）	「よい力が結集できるとよいですね。」2011年2月
磯貝 英夫（広島大学・ノートルダム清心女子大学名誉教授）	「世界によりやく核禁の機運が生まれようとしている時期です。ぜひ頑張りましょう。」2011年2月
五十子 満夫（元東京都立大学教員）	「福島第一原発事故以来、核分裂の問題、真剣に考えました。その結果、核兵器はもちろんの事、原発もすぐに止めなければなりません。」2012年2月
伊藤 博義（宮城教育大学名誉教授）	「唯一の被爆国である日本こそ、世界の先頭に立って、「核兵器全面禁止」を訴える資格と責任があると思います。」2012年2月
伊東 幸宏（静岡大学学長）	2011年2月
一海 知義（神戸大学名誉教授）	「世界的規模で運動が前進することを期待しています。」2011年2月
井上 英夫（金沢大学教授）	「NO NUKES, NO WAR, FUND HUMAN NEEDS!」2011年2月
今中 比呂志（広島大学名誉教授）	2011年6月
入谷 貴夫（宮崎大学教育文化学部教授）	2011年2月
岩井 忠熊（日本史研究者、立命館大学名誉教授）	「核兵器全面禁止はけっして『悲願』ではなく、実現可能な目標です。」2011年2月

岩波 一寛 (中央大学名誉教授)	「外交交渉を有利に進めるために核開発を利用するような動きも出てきており、核兵器禁止を世界的規模で拡大させる必要は益々重要性を増しています。この運動がさらに輪をひろげますように。」 2011年2月
岩間 一雄 (岡山大学名誉教授)	2012年2月
上野 正 (東京大学名誉教授)	「既存の核保有国の核兵器の削減、開発の禁止が特に重要です。これが無いと新しい核兵器開発の抑止は説得力がありません。」 2012年2月
上原 信博 (静岡大学名誉教授)	2011年6月
梅原 英治 (大阪経済大学教授)	「広島・長崎の悲劇をくり返さないため、『核兵器のない世界』を実現しよう！ すべての国の政府は、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を始めてください。」 2011年2月
江川 友治 (日本土壌肥料学会名誉会員・農学博士)	「昭和20年(1945年)の広島、長崎への原爆投下を知る者の一人として、核兵器全面禁止のアピールに賛同します。」 2012年2月
遠藤 宏一 (南山大学教授)	2011年2月
大島 和夫 (京都府立大学教授)	「NPT合意の実施、CTBTの発効を目指し、核兵器廃絶に向けての運動を国民全体の運動に広げて、進めていきたいと思えます。」 2011年2月
大槻 和夫 (広島大学名誉教授)	「核抑止力論の打破こそ、今最も重要ではないかと思えます。核兵器全面禁止への世界の世論の高まりを期待します。」 2011年2月
大西 広 (京都大学教授(2012年3月まで) 京都大学名誉教授・慶応大学教授(2012年4月以降))	「アメリカは今もなお未臨界実験を続けています。今だに「力の外交」を辞めない大国の存在に世間はずっと批判すべきと心から思います。」 2012年2月
大森 正信 (広島大学名誉教授)	「核兵器廃絶の世論を強め、日本の政府に核の傘からの離脱を要求したいと思います。」 2011年2月
小田中 聰樹 (東北大学名誉教授)	2012年2月
大矢 正人 (長崎総合科学大学名誉教授)	「東日本大震災と福島原発事故によって、私たちは新しい生き方が問われています。国民一人ひとりの生存権を保障すること。その点で、核兵器のない世界は新しい生き方の第一番目に挙げられるべきものと思えます。」 2011年6月
岡田 章宏 (大学教員)	2011年2月
岡田 正 (山口・元早稲高等学校校長)	2011年2月
岡田 知弘 (京都大学教授)	「核兵器も基地もない社会を一日も早く実現したいものです。」 2011年2月
岡田 正則 (早稲田大学教授)	「核兵器全面禁止から現実的な核兵器廃絶へ、行動を広げてゆきましょう(劣化ウラン弾の禁止・廃絶も)。」 2011年2月
岡本 三夫 (広島修道大学名誉教授、元日本平和学会会長)	2011年2月

小川 政亮 (日本社会事業大学名誉教授)	「米国が真先にこれに賛成し、自国の核兵器を廃棄すべきです。」 2012年2月
奥平 康弘 (憲法研究会)	2011年2月
奥村 宏 (会社学研究家)	2011年2月
小越 洋之助 (労働経済代表理事)	2011年2月
小澤 勝美 (法政大学名誉教)	「核兵器を全面的に禁止すると共に、原発事故の恐怖から全世界の人々が解放される日を実現しましょう。」2012年2月
小沢 隆一 (東京慈恵会医科大学教授)	「世界の動向、国内の様子を勘案すると、時宜にかなったとりくみと思います。核廃絶の世論の広がりに期待します。」2011年6月
小田中 聰樹	「核兵器のない世界中の人たちの力を結集して共に力を合わせましょう。」2012年2月
小和田 哲男 (静岡大学名誉教授)	2011年6月
角橋 徹也 (大学教員・教授)	2011年2月
垣内 国光 (明星大学教授)	「核抑止力の行使のための核兵器保持・拡散こそ平和の脅威です。ともにがんばりましょう。」2011年2月
加藤 一夫 (静岡大学名誉教授)	2011年2月
金子 ハルオ (東京都立大学名誉教授)	「『核兵器の全面禁止』こそは、人類の生存と発展にとっての最重要な課題です。21世紀の遅くない時期に実現するべく力を合わせて頑張りましょう。」2012年2月
金持 徹 (神戸大学名誉教授)	2011年2月
唐鎌 直義 (社会保障研究者)	「貧困と戦争のない世界を次の世代の人びとに。」2011年2月
川合 清隆 (甲南大学名誉教授)	2011年2月
川上 則道 (都留文科大学名誉教授)	「時宜にかなった署名運動だと思います。」2011年2月
川瀬 光義 (京都府立大学教授)	2011年2月
北出 俊昭 (元明治大学教授)	2012年2月
北川 隆吉 (社会学者)	「アピールを幅広い人々に広める努力を地道につづけたいと思います。」2011年6月
北原 勇 (慶応義塾大学名誉教授)	2012年2月
北村 実 (早稲田大学名誉教授)	「核兵器廃絶を実現し、世界の平和と安全を達成するには、国際世論の力に依拠するしかありません。アピール賛同のキャンペーンを成功させましょう。」2011年6月
木下 智史 (関西大学教授)	「核兵器をなくして、人類の理性の力を示したい。」2012年2月
君島 和彦 (歴史学者、東京学芸大学教授)	2011年6月
木村 初男 (名古屋大学名誉教授)	2011年2月
木村 朗 (鹿児島大学教授)	「新たな核戦争の危機が迫っている今こそ、原爆神話と核抑止論を克服して核廃絶を実現しなければなりません。ともに闘いましょう。」2011年2月

銀林 浩 (明治大学名誉教授)	2011年2月
熊野 喜久雄 (東京大学名誉教授)	2012年3月
栗山 一男 (法政大学教授)	2012年2月
黒川 俊雄 (慶応義塾大学名誉教授)	「今は亡き妻万千代は、広島での被爆によると思われる急性骨髄性白血病のため死去しましたが、国連事務総長も賛同した『核兵器禁止条約』の交渉開始を求める署名が、新しい運動として展開され、故人が闘病中も持ち続けていた核兵器廃絶の願いが一日も早くかなえられることを期待してやみません。」2011年6月
公文 昭夫 (社会保障評論家)	「『核拡散』イコール『戦争』は絶対ゆるせません。今こそ、あらためて『バターか核か』が迫られています。世界の永遠の平和のために『核兵器全面禁止』を全世界へ」2011年2月
児島 美都子 (日本福祉大学名誉教授)	2011年2月
後藤 正人 (和歌山大学名誉教授)	「日本国憲法の『戦力不保持』は世界に先駆ける唯一の規定です。核兵器の材料を生産する原発も共に廃絶することが課題となることでしょう。」2012年2月
小沼 通二 (慶應義塾大学名誉教授、世界平和アピール7人委員会委員)	2011年2月
小林 武 (大学教員・沖縄大学客員教授)	「二度の原爆投下で第5福竜丸被曝そして3・11東京電力原発大事故を経験した私たちは、今こそ核兵器全面禁止を実現させなければなりません。私は、昨年移住した沖縄で基地被害を日々感じています。その元凶安保条約の終了が不可欠と考えています。」2012年2月
小松 善雄 (大学教員)	2011年2月
小村 幸友 (広島大学名誉教授)	2011年2月
斎藤 敦 (徳島文理大学総合政策学部准教授)	2011年6月
榊原 道夫 (東海大学名誉教授)	「世界中から核兵器を直ちに無くそう。」2012年2月
佐藤 敬二 (立命館大学教授)	2012年2月
佐藤 嘉夫 (岩手県立大学教授)	2011年2月
佐中 忠司 (広島大学名誉教授)	2011年2月
沢田 昭二 (名古屋大学名誉教授、被爆者)	「被爆の実相を伝えて核抑止力論と核の傘依存から離脱させて核兵器禁止条約交渉を開始させましょう。」2011年2月
塩見 昇 (大阪教育大学名誉教授)	「この目標の実現のためには、核保有国が人類の課題として積極的に行動を示すことが不可欠です。」2011年2月
重富 健一 (東洋大学名誉教授)	「「継続は力なり」とともに粘り強く国の内外に訴え続けましょう。」2012年2月
宍戸 健夫 (愛知県立大学名誉教授)	2011年2月
設楽 惣助 (大学非常勤講師)	2011年2月
柴垣 和夫 (東京大学名誉教授)	「古希をすぎましたが、何とか生きているうちに実現したいものです。」2012年2月
柴田 徳衛 (東京経済大学名誉教授)	2011年6月

清水 雅彦（日本体育大学准教授【憲法学】）	「一刻も早くかくへいきの全廃を求めます。」2012年1月
白藤 博行（専修大学教授）	「広島・長崎を経験した私たちは、人間の身も心も潰滅させる核兵器の全廃を実現する責務があると思います。」2011年3月
鈴木 良（日本現代史研究家）	「全世界で、核全面禁止の声はさらに強まるでしょう。核兵器を無用の長物になるよう力を合わせましょう。」2012年2月
須田 哲夫（大東大学名誉教授）	2011年2月
須田 稔（立命館大学名誉教授）	「「恐怖と欠乏から免れて」「平和のうちに生存する権利」（日本国憲法前文から）すべての人に実現するために、人間の尊厳をかけて、核兵器全面禁止を熱望します。」2012年2月
高木 秀男（日本科学者会議福井支部常任幹事）	2011年6月
高島 進（日本福祉大学名誉教授）	「核兵器全面禁止は世界の平和の最も基礎的な重要な条件です。可能な努力を尽す決意です。」2012年2月
高橋 正（愛知大学名誉教授）	「特定の国が核兵器を保有し続ける限り、新たな核保有国の出現を阻止することはできない。全面禁止こそ！」2012年2月
滝沢 俊治（群馬大学名誉教授）	「日本は抑止力を背景にしたアメリカの世界戦略と一日も早く手を切り、唯一の被爆国として、ヒロシマ・ナガサキの悲劇を世界中の人びとに訴えなければなりません。」2012年2月
竹内 和夫（岡山大学名誉教授）	「核兵器は人類はもちろん、すべての自然にとって悪の存在です。一日も早く禁止条約を結びましょう。」2012年2月
田中 重博（茨城大学副学長）	「核兵器全面禁止は日本国民と人類の悲願であり、早急を実現しなければならない課題であると思います。」2011年2月
田中 則夫（龍谷大学教授）	「核兵器と人類は共存できません。ヒロシマ・ナガサキをくり返してはなりません。この原点を今を生きるすべての人たちのあいだで共有し、核兵器の廃絶を実現しましょう。」2012年2月
柘植 新（名古屋大学名誉教授）	「今こそ核兵器廃絶を実現するために、あらゆる力を結集しましょう。」2011年2月
暉峻 衆三（元・東京教育大学教授）	2012年2月
戸木田 嘉久（立命館大学名誉教授）	「2012年が核兵器のない平和な世界にむけて、画期的な一歩になることを期待します。」2012年2月
冨田 宏治（関西学院大学法学部教授）	「核抑止力論の幻想をいまこそうちやぶりましょう。」2011年2月
鳥居 達生（名古屋大学名誉教授）	2011年2月
富山 和子（評論家）	「だれもこわくてボタンを押せない。そんなものをなぜ造るのか。もう、いい加減に止めさせよ。」2011年2月
中須賀 徳行（岐阜大学名誉教授）	2011年2月
長砂 實（関西大学名誉教授）	2012年2月

中塚 明 (奈良女子大学名誉教授／日本近代史研究者)	「歴史に責任をもつ日本への再生を一人ひとりが努力して実現しようではありませんか。」2012年2月
中森 孜郎 (宮城教育大学名誉教授)	「核兵器と原発は、人類の存続を危うくし、人間にとって最大の不幸をもたらすものです。一刻も早い廃絶を実現しましょう。」2012年2月
永山 利和 (大学教員)	「世界情勢が大きく変化しています。とくに東アジアばかりか、中近東、アフリカにも変化が広がっています。核兵器の全面禁止にむけた行動が新しい歴史的意味をもってきています。運動の発展を願っています。」2011年2月
南新 秀一 (鹿児島国際大学教授)	「福島原発事故は、核による放射能汚染の恐ろしさを改めて明らかにしました。核兵器の全面禁止を心から願います。」2012年2月
新倉 修 (青山学院大学教授)	「1950年ストックホルム平和アピールは核兵器の使用が人道に対する犯罪であることを宣言し、3億筆の署名を集めました。ヒロシマ・ナガサキの惨劇から5年目に示された『良心の声』を今こそ生かしましょう。」2011年2月
丹生 潔 (名古屋大学名誉教授)	2011年2月
新原 昭治 (国際問題研究者)	「ブッシュ政権末期の日米核協議の内実を語る米秘密電報を読んで、日本国民の核兵器廃絶の熱い気持ちのために日米安保を傷つけさせてはならないとの日本大使の赤裸々な言明を知り、驚くとともに怒りが込み上げました。こうした被爆国日本の政府の対米いいなり外交が核兵器廃絶への前進を不当にも阻んでいます。いまこそ日本から始めて、最悪の大量殺戮平気・核兵器の全面禁止に向け核兵器禁止条約を現実に生み出す交渉を求める一大世論を起こさなければと痛感します。新しい核兵器全面禁止の署名運動を心から支持します。」2011年6月
野口 邦和 (日本大学教員・専任講師)	「小さな亀裂でも、ひとたび生ずると、穴の開いた堤防のごとく決壊するといいます。核保有国首脳を支配している核抑止論も同様でしょう。その不当性・非人道性を暴き亀裂を入れることができれば、すさまじい勢いで壊れるでしょう。この署名はそのための最良の道具になると確信しています。」2011年6月
野田 正彰 (関西学院大学教授)	2011年2月
畑 明郎 (元大阪市立大学教授)	「福島原発事故で原子力の恐ろしさが改めて認識されました。核兵器も原発も全面禁止すべきでしょう。」2012年2月
服部 学 (立教大学名誉教授)	2011年2月
浜林 正夫 (一ツ橋大学名誉教授)	「核兵器はもう完全に時代おくれです。核不拡散会議の次回開催へむけて、運動をつよめましょう。」2012年3月
林 昭 (龍谷大学名誉教授)	「私達はかつて1950年頃に原爆反対のストックホルムアピールの署名運動にとりくみ、当時、朝鮮戦争で原爆を使用すると発言した米トルーマン大統領をおいつめ、使用させませんでした。全世界から核兵器反対の声を上げ、国連で決議することが出来れば大きな力になると確信します。」2012年2月
晴山 一穂 (専修大学教授)	2011年2月
阪東 宏 (明治大学名誉教授)	2012年1月
日隈 威徳 (宗教研究者)	「1954年秋、高校の文化祭で原爆展をやり、署名を集めました。その初心に帰って頑張るつもりです。」2011年2月

平田 康 (京都橘大学名誉教授)	「いろいろな面で世界が大きく変わろうとしている現在、最大の悪である核兵器をなんとしても禁止しなければなりません。」2011年2月
広原 盛明 (京都府立大学元学長)	2011年2月
深瀬 忠一 (北海道大学名誉教授)	「平和憲法が保障する全世界の国民の平和的生存権をひとしく確保・尊重すべきである。」2011年2月
福地 保馬 (北海道大学名誉教授、核戦争に反対する北海道医師・歯科医師の会会長)	「新たな『核兵器全面禁止』署名の発展のために力を合わせましょう。」2011年2月
藤木 久志 (立教大学名誉教授)	2012年2月
藤岡 惇 (立命館大学教授)	「『アラジンの魔法のランプ』という寓話そのままにアラジン＝米国の支配者たちも巨大に成長した魔物に恐怖し出しました。魔物をランプにおさめさせるよう共同行動をおこしましょう。」2011年2月
藤田 敏夫 (環境サイエンティスト)	「NPT交渉促進が福島原発も原爆も根っこは同じです。廃絶させましょう。」2012年5月
風呂本 武敏 (非核の政府を求める兵庫の会代表世話人、元神戸大学教授)	「ゆるやかで見えにくい一人の署名も、核兵器全面禁止の国連決議賛成国を着実にふやしています。心新たに取り組みを始めましょう。」2011年2月
保母 武彦 (島根大学名誉教授)	「核保有が戦争の抑止力となるとする論理を捨てない限り、戦争はなくなりません。世界の平和と安全のために、核兵器の全面禁止を求める声を世界中に広めましょう。」2011年2月
前野 育三 (関西学院大学名誉教授)	「新たな被爆者を作らないために、今こそ核兵器の全面禁止を実現したいものです。」2011年2月
益川 敏英 (名古屋大学特別教授、ノーベル物理学賞受賞)	「核兵器全面禁止のみでなく、戦争の無い世界をめざしましょう。」2011年2月
増山 博行 (山口大学理学部教授)	2011年2月
松岡 正美 (立命館大学名誉教授)	「一爆・発 貳首一Total・ban! 非業の果ての原“爆”・“発”いよいよ正に全廃して! 力合わせて大いなる天災をもし凌ぎゆかめや!! 壬辰如月 松丘子」2012年3月
水内 宏 (千葉大学名誉教授)	2012年2月
溝川 悠介 (大阪府立大学名誉教授、奈良県原水協代表委員)	2011年2月
三井 斌友 (名古屋大学名誉教授)	「21世紀の早い時期に核兵器廃絶を実現することは私たちひとりひとりの課題であり、その力で達成できると信じています。」2011年2月
三橋 良士明 (静岡大学名誉教授)	「核兵器の廃絶なくして、平和なし。平和の声を地域から、そして世界に広げましょう。」2011年2月
峰岸 純夫 (東京都立大学名誉教授)	「核兵器を持っている国が、持っていない国につくるなどと言っても説得力はない。全面禁止以外に方途はない。」2011年2月
宮入 興一 (愛知大学教授)	「世界の指導者が広島・長崎を訪れ、被爆の実相を知って欲しいと思います。」2011年2月

宮崎 繁樹 (明治大学名誉教授)	「核兵器の廃絶は、大多数の国民の願いであると思いますので、アピールが派閥、党派にかたよらない様に十分考慮してお進めになる様心からお願い致します。」2011年2月
宮崎 礼子 (日本女子大学名誉教授)	2011年2月
三輪 定宣 (千葉大学名誉教授)	「『平和のうちに生存する権利』(日本国憲法前文)の確立のため先導的運動を強めましょう。」2011年2月
宗川 吉汪 (京都工芸繊維大学名誉教授)	「原水爆・原発の出す放射能の許容量はゼロ。核兵器は絶対悪。原発は絶対危険。」2012年2月
村山 淳彦 (東洋大学教授)	2012年2月
村山 祐一 (帝京大学文学部教授)	「核兵器の廃絶を求める声を、世論を日本中に、世界にもっともっとひろげていきましょう」2011年6月
森 透 (福井大学教授)	2011年6月
森 靖雄 (愛知東邦大学 地域創造研究所顧問)	「一日も早く全世界から核兵器を廃絶させましょう。日本からは直ちに撤去させましょう。」2011年2月
森井 俊行 (神戸大学名誉教授)	「東日本大震災による原発事故の深刻な状況は核の恐ろしさを改めて自白の下に曝けだしました。ましてや核兵器など、この地上から一刻も早くなくすべきです。」2012年3月
森川 恭巖 (短大元学長)	「我が日本国は、非核三原則を守り、核の傘を返上することが課題。政府に要求しよう。」2011年2月
矢ヶ崎 克馬 (琉球大学名誉教授)	「戦後66年経った今なお、放射能の埃が体内に入ったことによる『内部被曝』は核兵器推進勢力により隠され続けています。認定された被爆者をはるかに超える被害者が未だに認知されずに苦しんでいます。核兵器の被害の実相を明らかにしつくすことは、今益々重要な核兵器廃絶運動の一部となっています。被爆の実相は核兵器を抑止力と考えることなど絶対に許されないことを示しています。」2011年2月
山家悠起夫 (暮らしと経済研究室)	「核廃絶へ政府を動かすのは市民の力です。」2011年6月
山口 啓二 (歴史研究者／元東京大学・名古屋大学教授)	「学徒出陣の徴兵検査で肺結核のため再検査となり、数回再検査に出向く度に空襲のため検査できぬまま敗戦となり、出陣した多くの学友が特攻で戦死するという悲惨を抱いて92歳まで生きてきました。広島・長崎にも何度か赴き、核兵器全面禁止を願ってきました。」2012年1月
山崎 圭一 (横浜国立大学経済学部教授)	2012年2月
山根 清志 (大学教員)	2011年6月
山本 俊正 (関西学院大学教授)	「原発を含めて、危険な「核」の廃絶に賛同します。」2012年2月
山本富士夫 (福井大学名誉教授)	2011年6月
横湯 園子 (元中央大学教授)	「核兵器のない世界の実現をどれほど願ってきたことでしょうか。心から賛同致します。」2012年2月
吉田 晶 (岡山大学名誉教授)	2012年2月
吉田 敬一 (駒澤大学教授)	「平和は人間の幸せの原点。核兵器は破壊のシンボル。全面禁止は人類の持続的可能性の不可欠な要因。」2011年2月

吉原 泰助 (福島大学名誉教授・元学長／福島県九条の会代表)	2012年1月
和田 進 (神戸大学教授)	「核兵器廃絶の取り組みの世界的高揚の下で、軍縮、平和的生存権の国際的確立の基盤を！」2011年2月
和田 肇 (名古屋大学法学研究科・教授)	2012年2月
匿名 (大学教授)	「どんな“兵器”も決して紛争を解決することはできません。」2012年3月
【資料館・文学館長】	
三浦 光世 (三浦綾子記念文学館館長)	「旧約聖書イザヤ書第2章4節には『彼らはそのつるぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかって、つるぎをあげず、彼らはもはや戦いのことを学ばない』と記されています。この日の到来を祈ってやみません。」2011年2月
渡辺 淳 (評論家／東京都立大学名誉教授)	「核をなくし、放射能汚染をなくさない限り世界に平和はもたせません。そして、広島・長崎、福島を体験した日本こそその運動の先頭に立つべきでしょう。」2012年1月
渡辺 武 (元大阪城天守閣館長)	「現核保有国及び保有を求めているすべての国家とその国民が、核兵器全面禁止・廃棄こそ最大の平和・安全獲得のための“抑止力”であると考えよう変えていく大きな力を私たちの署名運動が持っていることを信じて。」2011年2月
和田 武 (日本環境学会会長、元立命館大学教授)	「核兵器全面禁止と軍縮を実現し、地球環境を保全できる平和で持続可能な社会をつくりたいものです。」2011年6月
【哲学者】	
梅原 猛 (哲学者)	2011年2月
鶴見 俊輔 (哲学者)	「日本人は二度原爆を落とされた記憶を力として、世界に対していきたい。そう思います。」2011年2月
【ジャーナリスト】	
斉藤 貴男 (ジャーナリスト)	「核兵器は絶対的な悪です。全面禁止以外の道はあり得ません。」2011年2月
高遠菜穂子 (ジャーナリスト)	「命に国境はない」2011年6月
中村 梧郎 (フォト・ジャーナリスト)	「核の一日も早い廃絶。それこそが人類の叡知の証明です。」2011年6月
長谷川千秋 (元朝日新聞大阪本社編集局長)	2011年2月
平岡 敬 (広島マスコミ9条の会代表)	「スコットランドの原潜母港化反対闘争や、フィリピンの『非核兵器法』成立など市民運動が自国政府を動かす運動が重要です。日本の場合、日米安保体制脱却の努力なくして、核兵器廃絶の訴えは力を持ちません。」2011年2月
前田 哲男 (ジャーナリスト)	「くずれぬへいわを へいわをかえせ そのために署名運動で人間の抑止力を。」2011年2月

【宗教者】	
青木 敬介（はりま宗教者平和の会代表、真宗西念寺前住職）	「被爆者が生きているうちに核兵器も（原発も）ない世界を実現しようとのよびかけに賛同します。」2011年2月
有田 恵宗（財団法人全日本仏教会理事）	2011年2月
安藤 肇（牧師）	2011年6月
石田 良正（大輪院住職、日蓮聖人門下・京都立正平和の会理事長）	「一切衆生（一切の生きとし生けるもの）と共存できない、破壊のみをもたらす『核兵器』は廃絶するしかありません。」2011年2月
井上 泰臣（妙隆寺住職）	2011年7月
植田 義弘（天理教御里分教会代表役員）	2011年6月
大原 光夫（僧侶）	2011年2月
小柴 正巳（奈良宗教者平和協議会理事）	2012年5月
小笠 成美（日本キリスト教団牧師）	「『原水協通信』に記されているように、マレーシア提案を日本政府が棄権したことを残念に思います。被爆国の日本こそ賛成すべきことです。」2012年2月
奥田 靖二（浅川金比羅神社宮司）	「核兵器廃絶は人類共通の願いです。人間がつくりだしたものは人間の手で無くすことは可能です。世論を何倍にも広げて必ず武器なき地球実現を！」2011年2月
小野 和典（静岡・真宗大谷派）	「すぐ隣の人から声をかけましょう。「抑止」ではなく完全廃絶を！！」2011年6月
梶原 史朗（東京・牧師）	2011年6月
川端純四郎（世界キリスト教協議会元中央委員）	「核兵器は原子炉なしには製造できませんアメリカの核戦略が原子炉安全神話の根にあります。東電原発事故の中で核兵器の全面禁止こそ脱原発の道の要だと思います。」2011年6月
菊池 静流（宗教法人 佛眼宗 管長）	2011年11月
木津 博充（日本山妙法寺）	「昨年5月、国連のNPTで合意した『核兵器のない世界の平和と安全を達成する』ために、今こそ全ての国で迅速なる実行を。非暴力・不殺生の道を立てなければ人類の真の安穩繁栄は無い。合唱」2011年2月
木村 宏嗣（禅龍寺住職、山形県宗教者平和協議会会長）	「『内なる心の平和と外なる世界の平和』を統一的に把握し、『核兵器全面禁止のアピール』に賛同するとともに、協力共同して運動を推進したいと思っています。」2011年2月
工藤 良任（奈良・般若寺住職）	2011年2月
雲尾 保喜（僧侶・本山修験宗快蔵院住職）	「核兵器廃絶運動の進展の時、原発被害の恐怖に満ちている今、「核兵器禁止条約」を全世界の政府に迫るのは、日本の責務です。」2012年3月
河野 憲胤（光照寺住職）	2012年2月
河野 太通（財団法人全日本仏教会会長）	2011年2月
小柴 正巳（奈良宗教者平和協議会理事）	2011年2月

小山 弘泉（浄土真宗本願寺派僧侶）	「『核兵器のない世界』の実現の為に運動を前進させましょう。」 2011年2月
佐藤 純彦（純則）（僧侶・大本山総持寺参与 雲林寺住持（廿壱世））	2012年1月
佐藤 幹雄（日本キリスト教団岩見沢教会牧師）	2011年6月
澤井 春光（東京・キリスト者）	2011年6月
篠田 智博（大寶寺住職）	2012年2月
鈴木 徹衆（真宗大谷派乘願寺）	2011年6月
高木 栄尊（宝珠院住職）	2012年2月
武田 隆雄（日本山妙法寺僧侶）	「いのちの尊さを守る運動に敬意を表します。連帯してがんばりましょう。合掌」2011年2月
立川 秀道（僧侶、浄土真宗本願寺派法隆寺住職）	「『風化』していく核のおそろしさを、もっと広く伝えていくことが大切であり、今求められていると思います。」2011年2月
千葉 俊一（カトリック司祭）	「『核』は核兵器だけではない。原発も『核』である。すべての『核』に拒絶を！原発を除外する反核運動には賛成できない。」 2011年7月
中畷 哲演（福井・明通寺）	2011年2月
中村 雄介（天理教鯨雄布教所長）	「核兵器の何と無駄な事か。持っていれば力を誇示できているのでしょうか。また、いつか使用できているのでしょうか。オバマにノーベル平和賞を返してもらいましょう。」2011年2月
滑川 静夫（関東キリスト者平和の会代表）	「地球から核兵器をなくしましょう。そのために私も頑張ります。」2011年2月
野下 千年（長崎・カトリック中町教会主任司祭）	2011年2月
橋本 左内（日本宗教者平和協議会理事）	「『兵戈無用』は紀元1世紀の『無量寿経』に明言されています。その教えを守っていれば核兵器も無かったでしょう。21世紀人類の声として『核兵器無用』を全世界にメールしませんか。」2011年6月
林 辰也（広島YMCA名誉主事）	2011年2月
林 正道（真宗大谷派安養寺住職）	「核兵器の廃絶は、『国富民安』『兵戈無用』と共通の願いです。」2011年2月
平山 武秀（日本基督教団牧師）	「核兵器全面廃絶は人類にとって緊急の課題です。議論はあとにして今即刻に具体的な行動に移りましょう。」2011年2月
藤井 聖仁（奈良・浄土真宗本願寺派明光寺住職）	「私どもの世代で必ず核廃絶を！」2011年2月
藤井 慶輝（本願寺派妙福寺住職）	「核兵器の行使を抑止している力は世界的世論なり。」2012年1月
松田 義賢（天台宗西光寺前住職）	「核兵器の全面的廃絶と戦争のない世界を強く求めます。」2011年2月
松山 幸生（日本基督教団・牧師）	「原発並びに核兵器を全面的に廃止し、生命の危機を排除するための積極的な取り組みを進め、憲法第三章及び25条を実現させましょう。」2012年2月

鞠川 了緯 (真宗大谷派住職)	「被爆者存命中の「核兵器廃絶」の悲願の成就を祈ります。」2011年
三玉 宜晃 (三重・僧侶)	「核兵器廃絶を呼びかけるためには、日本政府の姿勢を変えさせなければなりません。日本政府が、国連などの場でやっていることの実態を広く知らせましょう。」2011年2月
水田 全一 (臨濟宗妙心寺派龍澤寺住職)	「イギリスBBC放送の被爆者を笑いの対象にした事件でも示されたように、核兵器の罪悪に対する認識はまだ不十分です。すべての国の政府が核兵器禁止条約の交渉に本腰を入れることが大切です。新しい署名運動に全面的に賛同します。」2011年2月
三村 達道 (曹洞宗玉泉寺住職)	「福島は原発被害で苦しんでいます。原発と核兵器は同根のもの。地球と全てのいのちのために核兵器と原発の全面禁止を。」2012年2月
宮城 泰年 (本山修験宗管長)	「核兵器に削減目標などまやかしのことは不要であり、ゼロ目標以外に選択肢はありません。原発と同様に政財界、企業や御用学者、それを取り巻くグループの言葉に惑わされないよう確たる信念をもって活動しよう。」2011年7月
三宅 善昭 (浄土真宗法林寺前住職)	「これ以上『ヒバクシャ』を作り出さない為に、核兵器のない世界の来る事が、期限を切って約束される様、皆様と共に一層の努力をしたいと思います。それにしても未だに核抑止にしがみつくわが国政府には怒りさえ感じます。」2011年2月
宮崎 快堯 (奈良・白毫寺住職)	2011年2月
無着 成恭 (僧侶・住職)	「国とか民族とか宗教とかちがう人々が武力で争うことをやめる世界をつくりだすことはできないのでしょうか？」2011年2月
森 修覚 (真宗大谷派僧侶、日本宗平協事務局長)	「核兵器全面禁止の実現を。世論と運動を大きく広げよう」2011年2月
矢野 太一 (天理教よろこび布教所)	「今年74才になりますが、まだ74才です。子や孫の世代に核兵器も戦争も無い平和な世界を残すために生命のある限りがんばりたいと思います。」2011年2月
山名 広隆 (東京・僧侶)	2011年2月
山本 光一 (日本キリスト教団・牧師)	「自分が死ぬまでに核兵器廃絶の頂上は見えないものと思っていましたが、頂上が見えて来たような気がします。共に奮闘しましょう。」2011年10月
吉川 清明 (奈良・浄土宗本願寺派僧侶)	2011年2月
吉本 眞澄 (奈良・浄土真宗本願寺派善行寺住職)	2011年2月
【医 師】	
青木 克明 (広島・医師)	2011年2月
青山 哲也 (奈良反核医師の会代表世話)	2011年2月
浅子 薫衣 (埼玉・医師)	2011年2月
有馬 一城 (有馬眼科クリニック院長)	「全ての戦がなくなることを、そして、最も非人道的兵器である核兵器がまっさきに無くなることを心より願います。」2012年2月
岩倉 政城 (新日本医師会会長)	「地球レベルの飢餓をよそに財を費やす核の脅しより、分け合い、解りあう人間の営みを」2011年2月

岩本 晋（財団法人山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑理事長）	2011年2月
宇藤 千枝子（医師）	「宇宙の奇跡とも言うべき美しい地球とその自然。ウランも自然のままに鉱山に眠らせておくべきでした。」2012年2月
大川 浩正（愛知県保険医協会監事）	「世界中に憲法9条を広めたい。殺人の道具に全てを使わずに、救命のために使ってもらいたい。」2011年2月
大橋 晃（勤医協中央病院名誉院長）	「NPT再検討議会などでようやく見えてきた核廃絶への道のりを、今こそはっきりとした道筋として示すときです。」2011年2月
奥村 晃久（医師）	2012年2月
金子 あそみ（歯科医師）	2013年4月
河原田和夫（医師、新日本医師協会副会長）	「核兵器なくし、地球上から争いごとを無くしましょう。」2011年2月
菅 政和（長崎・医師）	「原発依存の見直しが必須です。核兵器のない世界の平和と安全を達成したいものです。」2011年6月
間間 元（静岡県保険医協会理事長）	2011年2月
金 優（医師）	2012年2月
合田 泰幸（兵庫県民主医療機関連合会会長）	2011年2月
児嶋 徹（医師、全国「反核医師の会」代表世話人）	2011年2月
紺谷 日出雄（医師）	「アピールに賛同し、核兵器禁止条約の交渉開始を求める署名を進めます。」2012年5月
鮫島 千秋（全国保険医団体連合会元会長・顧問）	「オバマ賛美は、むしろ核戦争への道を歩むことになることを、もうそろそろアピールすべき時がきています。」2011年2月
清水 達夫（広島・医師）	2011年2月
住江 憲勇（全国保険医団体連合会会長）	「昨年のNPT再検討会議での最終文書の合意を全世界での具現化のためにも署名運動『アピール』に全面的に支持・協力させていただきます。一日でも早い核兵器全面禁止は、人類に喫緊の課題です。」2011年2月
大門 和（福井・つるが生協診療所）	2011年6月
高橋 昭雄（埼玉・医師）	2011年2月
多田 崇子（内科医師）	「戦後はすでに60年を越しました。私はそろそろ90歳になる内科医です。戦争とは知らぬ他人を現在では核兵器を使ってころすことです。この様な情けない行為はあるでしょうか。」2012年2月
千々岩秀夫（長崎県保険医協会会長）	「被爆地長崎に住む医師・歯科医師として、私たちは今回のアピールに賛同し、この運動が大きく広がることを祈念しております。」2011年2月
坪井 裕志（奈良県保険医協会理事長、奈良反核医師の会代表世話人）	2011年2月

哲翁 昭邦 (長崎・医療法人理事長)	「核大国が廃絶に向けて核兵器削減を積極的に進めない限り、世界の平和を脅かす核拡散の危険は去りません。日本政府が率先して核軍縮を要求することを求めます。」2011年2月
寺田 秀夫 (医師)	2012年2月
土肥 定 (医師、尼崎市立花町9条を守る会代表世話人)	「同年でありました私のいところは、長崎医大の学生で原爆で死亡しています。」2011年2月
土井 敏彦 (内科医)	「人類と核兵器は共存できない。日本政府はアメリカの核支配から脱却し国民の安全を守らなければならない。」2012年2月
富田 満夫 (医師、保育園長)	「今なお被爆者を苦しめている核兵器の存在理由は全くありません。即時全面禁止を求めます。」2011年6月
朝長万左男 (核兵器地球市民長崎集会実行委員長)	「今年こそ『核兵器禁止条約』の多国間交渉のスタートの年にしよう！」2011年2月
西原 一樹 (広島医療生協沼田診療所長)	2011年2月
長谷 憲 (広島・長谷医院院長)	2011年2月
長谷部 栄佑 (内科開業医)	「核兵器は勿論、世界からなくす時代です。原発もなくす時機となりました。皆様御苦労様です。」2012年2月
花井 透 (医師)	「究極の核兵器廃絶や究極の脱原発では意味がありません。それぞれ期限をきった具体的なプログラムを作らせましょう。」2012年2月
原 和人 (石川勤労者医療協会理事長)	「今までにない幅広い運動が必要と思います。『核兵器禁止条約の交渉の開始』この一点での共同の運動を広げましょう。」2011年2月
日野原 重明 (医師、聖路加病院理事長)	2011年2月
姫野 純也 (医師)	「戦争を知る者として「皆殺し」の核兵器に心から反対をします。」2012年5月
福田 章典 (ふくた診療所所長)	「核兵器は存在してはいけないもの、一秒でも早く全廃を」2012年2月
藤末 衛 (全日本民主医療機関連合会会長)	2011年2月
藤原 秀文 (広島・福島生協内科クリニック)	2011年6月
堀尾 清晴 (医師)	2012年2月
本田 宏 (埼玉県済生会栗橋病院副院長)	「子どもや孫の世代により良い社会をバトンタッチしたい」2011年2月
峯 克彰 (奈良反核医師の会代表世話人)	2011年2月
峯廻 攻守 (医師・病院長)	「三度の核事件（一度目－広島・長崎の原水爆投与。二度目－第5福竜丸事件。三度目－福島第一原発事故）を経験した日本が世界の先頭に立つのは歴史の必然です。」2012年2月
室生 昇 (総合病院南生協病院名誉院長)	「一刻も早く『核兵器が全面禁止』されることを願っています。」2011年2月
望月 正子 (医師・院長)	2012年2月

矢崎 正一（医師（北医療生協北病院院長））	「世界の平和と安全のため、一日も早く核兵器を全面禁止することを求めます。」2012年2月
山下 紘志（歯科医師・保団連副会長）	「最大の暴力装置である核兵器を一日も早く廃絶しましょう。」2012年2月
山本 純嗣（医師・生協芦屋診療所所長）	「人類に大きな災いをもたらす核兵器と原発は早急に無くすべきだと思います。」2012年3月
与島 明美（医師・富山協立病院院長）	「核兵器は本当に非人道的なものです。これを作った人類はこれをなくすことを責任をもってやりとげなければなりません。」2012年2月
【弁護士】	
秋山 信彦（弁護士）	2012年2月
渥美 玲子（愛知・弁護士）	2011年2月
池本 誠司（埼玉・弁護士）	2011年2月
石河 秀夫（弁護士）	「今こそ人類の英知と情熱で核兵器廃絶の動きを加速させましょう。」2012年2月
石田 明義（弁護士・北海道平和委員会理事長）	「フクシマを犠牲に終わらせないためにも核兵器全面禁止の実現は、人類の責任です。」2012年3月
井上 明彦（広島・弁護士）	2011年2月
井上 正信（広島・弁護士）	2011年2月
今川 正章（弁護士）	「地球に生きる生物として核兵器の全面廃絶を求めます。」2012年2月
内山 新吾（山口・弁護士）	2011年2月
遠藤 順子（埼玉・弁護士）	2011年2月
大久保 賢一（弁護士、日本反核法律家協会事務局長）	「非核三原則の法制化についても取り組みを強めましょう！」2011年2月
大阪法律事務所	2012年2月
小川 洋子（行政書士ひまわり法律事務所代表）	2011年6月
尾林 芳匡（弁護士八王子合同法律事務所）	「世界でますます核廃絶の世論が広がるよう力をつくしましょう。」2011年2月
加藤 洪太郎（愛知・弁護士）	2011年2月
川合 善明（埼玉・弁護士）	2011年2月
北大阪綜合法律事務所	2012年2月
久米 弘子（弁護士）	「一日も早く全世界で核兵器が禁止されることを願います。」2012年2月
小林 保夫（弁護士）	2012年2月
小部 正治（弁護士、自由法曹団幹事長）	「核兵器廃絶に期限を定めて本格的に取り組みましょう。」2011年2月

四位 直毅（弁護士、全国革新懇代表世話人）	「核兵器廃絶は、人類存続のため不可欠の課題です。核兵器をつくるのも、なくすのも、私たち人間だけができることです。核兵器廃絶に向けての歴史的好機は今、新署名成功のため、悔いなく全力をつくしましょう。」2011年2月
柴田 五郎（弁護士）	2012年2月
島田 浩孝（埼玉・弁護士）	2011年2月
嶋田 久夫（群馬・弁護士）	2011年6月
庄司 捷彦（弁護士）	「原子力発電所は核兵器の原料であるプルトニウムの製造装置（原子炉）の悪用です。大量の放射性物質の処理方法未確立の間、人間は原子炉を使うべきではありません。」2012年2月
白井法律事務所	「核兵器も原発もない世界をつくりましょう。」2012年2月
白石 光征（弁護士／日本国際法律家協会副会長）	2012年2月
城塚 健之（大阪・弁護士）	「核兵器廃絶は人類にとって焦眉の課題です。今こそ、アメリカ、ロシアをはじめ、すべての国が人類の未来に責任をもった態度をとるべきです。」2011年2月
鈴木 亜英（弁護士）	2012年2月
高崎 暢（北海道・弁護士）	2011年2月
谷 和子（弁護士）	2012年2月
高村 是懿（広島・弁護士）	「恐怖のものと平和はありえません。恐怖から免れこそその平和です。」2011年2月
陶山 和嘉子（弁護士）	「原子力の平和利用を含め核開発の全面見直しを考える時が来ていると思います。」2012年2月
内藤 功（弁護士、日本平和委員会代表理事）	2011年2月
内藤 雅義（東京・弁護士）	「差別される可能性さえあるのに、語る事がつらい体験を亡くなられた人に代わって語り、核兵器の廃絶を訴え続けてきた被爆者の方がたのために被爆者が生きているうちに核兵器廃絶を実現することが私たち被爆国に住む人間の責任だと思います。」2011年2月
中島 晃（弁護士）	「核廃絶に向けたアピールが力強く広がることを願っています。」2012年2月
永尾 廣久（福岡・弁護士）	2011年7月
中村 照美（沖縄・弁護士）	「核廃絶は人類と生物生存の為に実現しなければならないことです。」2011年2月
中村 尚達（弁護士・非核の政府を求める長崎県民の会代表常任世話人）	「今や、核廃絶へ向けての世界の潮流は、誰もこれを押し止めることはできない。しかし、被爆者に残された余命は長くはない。命ある間に核兵器全面禁止の実現へ向けて全力を尽くしたい。」2011年2月

橋本 敦 (弁護士)	「ヒロシマ・ナガサキの悲しみと怒りを忘れぬ日本こそ。核兵器全面禁止の世界の運動の先頭に立って頑張りましょう。」2012年2月
早川 光俊 (弁護士)	2012年2月
東垣内 清 (弁護士)	「核兵器のない地球、これは地球上のすべての生物の願いです。」2012年2月
ひめしゃら法律事務所	2012年3月
藤原 精吾 (兵庫・弁護士)	2011年2月
船尾 徹 (東京・弁護士)	2011年2月
松岡 正章 (弁護士、甲南大学名誉教授)	「全人類の課題として『核兵器のない世界』の達成に向けて連帯しよう。」2011年2月
水野 幹男 (弁護士)	2012年3月
毛利 正道 (弁護士)	「戦前一定だったガン死亡率が戦後急上昇している。戦前になくて戦後に生じたものは、核兵器と核実験、原発。ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ以降も原子力による緩慢な大量殺人がなされているのではないか。」2012年2月
守川 幸男 (弁護士)	「核兵器も原発も人類と共存できません。核兵器廃絶と原発廃止に向けてさらに大きな前進を。」2012年2月
山下 綾子 (弁護士)	「人類がこれからも生きのびて行くために核兵器に全面に反対します。」2012年2月
【会計・税理士】	
阿部 國博 (東京・税理士)	2012年2月
関本 秀治 (東京・税理士)	2011年6月
竹内 克謹 (大阪・税理士)	2011年6月
楠 薫 (大阪・税理士)	2011年6月
橋本 憲治 (大阪・税理士)	2011年6月
清家 裕 (大阪・税理士)	2011年6月
【市民団体】	
梅林 宏道 (NPO法人ピースデポ)	「不屈の運動の継続に敬意を表します。市民社会からの声の継続が何よりも必要です。」2011年2月
清水 幸子 (広島平和文化センター評議員)	「“地球は青かった”、これははじめて宇宙から地球を見た旧ソビエトの宇宙飛行士ガガーリンのことばです。その美しい地球を、人類は今破壊しようとしています。民族や宗教、文化の壁をこえて、次の世代の子ども達に平和な世界を残すことは私たち大人の責任です！」2011年2月
中畔 都舎子 (全国地域婦人団体連絡協議会会長)	2011年3月
日本青年団協議会	「すべての国から核兵器や戦争がなくなり、平和な21世紀を私たちの手で作っていきましょう。」2011年2月

日本母親大会連絡会	「7月30・31日に広島で開催します第57回日本母親大会参加者に配布する資料袋に新署名の用紙を封入し、署名を集める予定であります。よろしくお願いします。」2011年6月
広瀬 方人（「長崎証言の会」代表委員）	「65年前、人類史上初めて核兵器による惨禍から生き残った被爆者は、広島・長崎にだけしかいなかった。敗戦に続く米国による占領とその政策に追随した日本政府によって被爆者無視の年月が12年も続いた。ビキニ水爆実験を契機にした原水爆反対運動の中で、ヒバクシャは『このような兵器は世界のどこであろうと2度と使われてはいけない兵器だ』と訴え、ヒロシマ・ナガサキの体験を人類共通の体験にすることを願って運動を続けてきた。65年を経た今、その願いはもう誰も押しつづすことの出来ないうねりとなって世界中に広がっている。私たちは、このうねりを更に広げ、核兵器禁止の実現を目指したい。」2011年6月
堀江 ゆり（日本婦人団体連合会）	「今回こそ実現への一步を。人類の未来のために」2011年6月
守谷 武子（日本婦人団体連合会顧問）	「66年を経ても、被爆者は苦しみつづけています。核兵器全面禁止の世論は全世界に広がってきています。新たな署名運動を一層盛りあげましょう。」2011年2月
湯浅 一郎（NPO法人ピースデポ代表）	「北東アジアの非核兵器地帯化を通じて、『核兵器のない世界』への動きを加速させましょう！」2011年6月
横瀬 昭幸（財団法人 長崎平和推進協会理事長）	2011年2月
【協同組合・生協連】	
高橋 泰行（医療福祉生協連会長理事）	2011年2月
飛田 稔章（北海道農業協同組合中央会）	2011年2月
藤谷 恵三（医療福祉生協連専務理事）	2011年2月
【労働・民主団体・個人】	
相場未来子（新日本婦人の会秋田県本部事務局長）	2011年6月
赤木 信久（秋田県革新懇代表世話人）	2011年6月
明石 喜進（秋田県革新懇代表世話人）	2011年6月
秋元 敏（民青能代班秋田県委員）	2011年6月
浅野 貞助（全日本年金者組合秋田県本部能代山本支部副委員長）	2011年6月
安部 陽（東京水道労働組合中央執行委員長）	2011年6月
網本えり子（広島・廿日市市）	「命を阻むものに正義はない。それは全て悪。核兵器の存在にどんな言い訳も無い。意志を持って核兵器廃絶を進めよう！」2011年2月
嵐山 繁樹（国民救援会福井県本部顧問）	2011年6月
石川 秀子（広島市・元保育園園長）	2011年6月

石川ふみ子（新日本婦人の会男鹿支部支部長）	2011年6月
石橋 正夫（日朝協会代表理事）	2011年6月
石山 久男（歴史教育者協議会会員）	2012年2月
泉 侃子（新日本婦人の会大館支部支部長）	2011年6月
板谷 義彦（奈良県労働組合共済会専務理事）	2011年2月
伊藤 功（徳島民主商工会事務局長）	2011年6月
伊藤 紘（福島・二本松原水協代表）	2011年2月
伊藤 千作（日本共産党山本地区委員会地区委員長）	2011年6月
井ノ尾 寛利（奈良県労働組合連合会議長）	2011年2月
井上 大志（山口県連合青年団団長）	2011年2月
今村 啓子（長崎・合唱指揮者）	「絶対的理性等持ちあわせない私たち人間は絶対的兵器である『核兵器』は持つべきでないと思います。」2011年6月
鵜澤 希伊子	「核も原発も人間も共存できません。全世界から核兵器と原発をなくすため、命をかけます。共に闘いましょう。」2012年10月8日
内田 孝道（元小松島市議会議員）	2011年6月
宇野 豪（広島）	2011年2月
近江谷エイ（新日本婦人の会秋田県本部代表委員）	2011年6月
近江谷 昭二郎（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部副会長・秋田県本部会長）	2011年6月
大沢 則子（北秋田生活と健康を守る会事務局）	2011年6月
大塚 義千代（三種町生活と健康を守る会会長）	2011年6月
大塚 久司（秋田県高等学校教職員組合書記長）	2011年6月
小川 絢子（新日本婦人の会秋田県本部代表委員）	2011年6月
大山 正明（日本共産党地区委員）	2011年6月
奥井 淳二（日本共産党秋田県地区委員会委員長）	2011年6月
小野木康隆（日本共産党徳島県委員会）	2011年6月
加賀 繁（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟能代山本支部事務局）	2011年6月
柏谷 武志（秋田医療福祉労働組合執行委員長）	2011年6月
金子 貞子（八滝支部副支部長）	2011年6月
金子富美清（八滝支部）	2011年6月

金子 秀典 (広島市職労中央執行委員長)	「被爆者の生きているうちに核兵器のない世界実現のために、世界中の声をあつめましょう。」2011年2月
河原 一夫 (福島・白河地方労働組合総連合議長)	2011年2月
菊地 時子 (日本共産党市会議員)	2011年6月
北爪 隆夫 (埼玉合唱団団長)	2011年2月
木田 英之 (徳島・写真家)	2011年6月
草薙 秀一 (日本民主主義文学会幹事)	「被爆国の国民として、世界にこの運動とアピールを強力に発するべき責任があると思います。断固としてがんばりたいと思います。」2012年2月
工藤 隆康 (能代市革新懇事務局長、AALA能代山本支部事務局長)	2011年6月
工藤 牧子 (新日本婦人の会能代支部事務局)	2011年6月
久保田 仁 (日本共産党福島県委員会委員長)	「核抑止力、軍事力では真の平和はあり得ない。核兵器禁止条約を締結し、核兵器廃絶をすることです。」2011年2月
倉又 孝夫	「一日も早く、一人でも多く。」2012年2月
樽松 佐一 (愛知県労働組合総連合議長)	2011年2月
黒井 宏樹 (奈良・社会福祉法人秋篠茜会労働組合副委員長)	2011年2月
古賀 哲夫 (兵庫県勤労者学習協議会名誉会長)	「署名にはいつも私の全歴史をこめてペンをとります。背中に、千の風になった被爆者の声を感じながら。ご健闘を念じつつ。」2011年2月
国分 稔 (全国商工団体連合会会長)	2011年2月
児玉栄美子 (秋田県)	2011年6月
児玉 金友 (秋田県革新懇代表世話人)	2011年6月
児玉 鎌吉 (能代原水協)	2011年6月
小玉 正憲 (秋田県商工団体連合会会長)	2011年6月
児玉 玲二 (福井・元高校教師)	2011年6月
小林 幸一 (日本共産党藤里町議)	2011年6月
小林 秀彦 (能代山本農民連会長)	2011年6月
小林 泰夫 (非核の政府を求める秋田県民の会代表・日本国民救援会秋田県本部長)	2011年6月
小山 春雄 (秋田県原爆被害者団体協議会会長)	2011年6月
斉藤 大悟 (日本民主青年同盟秋田県委員会委員長)	2011年6月
斎藤 富春 (福島県労働組合総連合議長)	「人類の知恵と連帯の力は、必ずや核兵器のない地球を実現するでしょう。」2011年2月

齋藤 重一（原水爆禁止秋田県協議会理事長）	2011年6月
齋藤 実（福島市渡利9条の会会長）	2011年2月
坂田 一仁（奈良民主商工会）	2011年2月
坂本 充子（保健婦資料館館長）	「2010年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議では核兵器をもつ国を含めて189カ国が『核兵器のない世界平和』をめざすと決めました。このことを実現すること、なんとしても世界から核兵器を消滅し、世界を平和にすること、日本は唯一原爆の被害を受けた国です。なんとしてもこの決意の先頭に立って全国民の意志としてこのアピールを広める動きに結集しましょう。」2012年2月
桜井 和春（全日本国立医療労働組合広島地区協議会議長）	「核兵器禁止にむけて日本国中に、そして世界に大きく発信する署名に賛同し、共に頑張りたいと思います。」2011年2月
佐竹 良夫（医療福祉関連一般労働組合執行委員長）	2011年6月
佐藤 勝太郎（秋田県）	2011年6月
佐藤 絹子（日本婦人の会大曲支部支部長）	2011年6月
佐藤 力美（秋田県原爆被害者団体協議会事務局長）	2011年6月
佐藤 秀樹（大分民医連会長）	「核兵器はもちろん、原発も廃止へ。全国民が共闘を。」2012年2月
佐々木 章（秋田県労働組合総連合議長）	2011年6月
佐々木 兵嗣（三種町生活と健康を守る会事務局長）	2011年6月
沢田 博（日本共産党奈良県委員長）	「核兵器の廃絶へ、力と心をあわせましょう。」2011年2月
澤野 重男（広島・退職教員）	「核兵器のない世界を子どもたちに贈りたい！」2011年2月
塩谷 啓一（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟能代山本支部支部代表）	2011年6月
清水 恭太郎（奈良・南紀寺町3丁目第1自治会）	「早く核兵器をなくそう。」2011年2月
重光 恵美（看護師、広島赤十字・原爆病院労働組合執行委員長）	「『核兵器のない世界』を実現しよう。」2011年2月
篠崎 政治（東京労音委員長）	2011年6月
柴田 アツ（新日本婦人の会羽後支部支部長）	2011年6月
白川 嘉秀（奈良市五条西2丁目第1自治会会長）	2011年2月
白根 厚子（埼玉・童話作家）	2011年2月
末田 秀熙（広島）	2011年2月
杉本 秀太郎（日本芸術院会員・文芸部門）	2012年2月

鈴木 清史（埼玉革新懇代表世話人）	2011年2月
鈴木 甚郎（原水爆禁止湯沢協議会事務局 局長）	2011年6月
鈴木 政隆（秋田県革新懇代表世話人）	2011年6月
鈴政 貴行（日本検数労働組合中国支部 執行委員）	「皆様の日々の活動に敬意を表します。我々も微力ながらお力添えが出来れば幸いです。頑張ってください。」2011年2月
角岡 田賀男	2012年2月
住吉 陽子（埼玉革新懇代表世話人）	2011年2月
全日本視覚障害者協議会（全視協）	2011年6月
全日本リアリズム演劇会議	2011年6月
祖父江 桂子（新日本婦人の会徳島県本 部事務局）	2011年6月
大黒 作治（全国労働組合総連合議長）	2011年2月
高田 公子（新日本婦人の会会長）	2011年2月
高野 祐子（福祉保育労働組合福島支部 執行委員長）	「核兵器があつては、平和の道はありえないと思います。」2011年2月
高橋 聡（福島県立高等学校教職員組 合）	2011年2月
高橋 信（愛知県平和委員会理事長）	2011年2月
高林 弘（長崎・自営業）	2011年6月
高橋フキ子（新日本婦人の会湯沢支部事 務局長）	2011年6月
高橋 泰子（新日本婦人の会横手支部支 部長）	2011年6月
高橋 良栄（能代山本原水協代表）	2011年6月
竹末 和美（奈良県労働組合連合会事務局 長）	2011年2月
田中 千賀子（新日本婦人の会奈良県本 部）	2011年2月
田中 悠（日本民主青年同盟中央委員 長）	「核兵器のない世界を実現するため、がんばりましょう」2011年6月
田辺 実（治安維持法国家賠償要求同 盟奈良県本部）	「核にしがみつく勢力を孤立させ、全面禁止を実現させよう。」 2011年2月
塚本 茂男（能代市平和委員会事務局 長）	2011年6月
辻 照子（新日本婦人の会福井県本 部）	2011年6月
辻 恒雄（日本共産党広島県議会議員）	「核兵器廃絶にむけて力を尽くします。核も基地もない平和な日本へともにがんばりましょう。」2011年2月
辻村 一郎（働くもののいのちと健康を 守る全国センター顧問）	「原爆も原発災害も一挙に大多数のいのちを奪い、長期にあるいは次世代にも深刻な健康と生活の障害をもたらします。早期の核廃絶を要求します。」2012年2月
出口 潔（全国社会保険診療報酬支払 基金労働組合大阪支部長）	2011年2月
東條 信枝（徳島・健生病院看護師）	2011年6月

富樫 練三 (埼玉革新懇代表世話人)	2011年2月
富田 克英 (福島県国家公務員労働組合協議会議長)	「『核兵器全面禁止のアピール』に対し福島県国公として全面的にご賛同いたします。共に頑張りましょう。」2011年2月
豊田 門郎 (とくしま生協労組事務局長)	2011年6月
中内 輝彦 (徳島県歴史教育者協議会)	2011年6月
長岡 節子 (新日本婦人の会能代支部支部長)	2011年6月
長崎 明	2012年1月
中嶋 哲彦 (全国大学高専教職員組合中央執行委員長)	2011年6月
中田 和彦 (長崎県学童保育連絡協議会)	「核兵器のない世界を子どもたちに手渡し、平和を希求することは、原爆の惨禍を受けた国民の責務です。未来に生きる子どもたちのためにも、この署名が脳が燎原の火のように広がることを願います。」2011年6月
中田 宗子 (秋田県)	2011年6月
中村 秀也 (秋田県医療労働組合連合会執行委員長)	2011年6月
中谷 広夫 (自交総連広島地本執行委員長)	「NPTの力を全世界に届けるため新署名、ともに奮闘しましょう。」2011年2月
永田 博 (岩瀬・須賀川地方労連議長)	2011年2月
奈良 由美子 (新日本婦人の会秋田支部支部長)	2011年6月
成田 洋子 (新日本婦人の会秋田鹿角支部事務局長)	2011年6月
西岡 幸利 (日本高齢者NGO会議代表)	「ノーベル平和賞の運営基準の全面的改定に向けて世界の世論を高めましょう。」2012年2月
野木 茂雄 (全労連・全国一般労働組合福島一般労働組合執行委員長)	「歴史的なチャンスを活かす重要な署名だと思います。被爆者の方がたの思いを胸に、一緒に取り組みをすすめたと思います。」2011年2月
野口 正良 (徳島県中部地区労連議長)	2011年6月
野波栄一郎 (日本共産党坂井市委員長)	2011年6月
長谷川 隆士 (奈良自治体労働組合総連合執行委員長)	2011年2月
畑 奈緒美 (福井民医連事務局次長)	「命は何ものにもまさる尊いもの！ それなのに核兵器によって命をうばわれるなんてナンセンス！ 絶対に、絶対に、核兵器によって命がうばわれることのない世界に声をあげよう」2011年6月

畑田 重夫 (日本平和委員会代表理事)	「『ストックホルムアピール』署名、いわゆる『アピール署名』など、戦後何回かとりくんだ経験があり、思い出もありますが、今度こそ、反核平和を望む人々による決定打的な署名運動にしたいものですね。戦争体験者の一人として、今度もまた全力をつくしてこの署名運動の成功のために奮闘したいと決意を新たにしています。」 2011年2月
服部 郁弘 (全国漁業協同組合連合会代表理事長)	2011年6月
服部 敏彦 (徳島県原水協代表理事)	2011年6月
浜島 康弘 (名古屋青年合唱団)	「すべての国が核兵器全面禁止条約の交渉に踏み切る様、私たちの声と力を更に大きく広く深くを合言葉にがんばりましょう。」 2012年2月
林 紀子 (新日本婦人の会広島県本部会長)	「昨年のNPT再検討会議では、私たちNGOの運動が核兵器廃絶にむかって世界を動かしたことを実感しました。『被爆者の生きているうちに核兵器のない世界を実現する』ため、さらにはがんばります。」 2011年2月
林 広員 (福井民医連職員)	2011年6月
東森 英男 (安保破棄中央実行委員会事務局)	「新しいアピール署名に全面的に賛同します。核兵器、軍事同盟、基地をなくすために私たちががんばります。」 2011年6月
樋口 素秋 (俳人、日本ペンクラブ会員)	2011年2月
平山 武久 (埼玉県平和委員会代表理事)	2011年2月
広島県国家公務員労働組合共闘会議	「核兵器廃絶のためにもともに奮闘しましょう。」 2011年2月
福江 俊喜 (原水爆禁止山口県協議会筆頭代表理事)	2011年2月
藤井 栄一 (広島地域労働組合総連合議長)	2011年2月
藤垣 全弘 (全日本年金者組合奈良県本部委員長)	2011年2月
藤田 佳代 (兵庫・モダンダンス研究所)	『戦争をしません』と全地球の人びとが思えるようなしっかりした呪文・おまじないはないのでしょうか。ごいっしょに考えたいと思います。」 2011年2月
藤田 和久 (日本共産党仙北地区委員会地区委員長)	2011年6月
藤田洋一郎 (東京労音府中センター事務局長)	2011年6月
藤平 和良 (全国税労働組合中央執行委員)	「核の傘、は決して平和をつくりません」 2011年6月
藤原 肇 (徳島県生活と健康を守る会連合会事務局)	2011年6月
藤原 良夫 (日本共産党)	2011年6月

藤本 艶子 (広島県母親連絡会会長)	「過日、新しい署名発表集会の感激の中で更なる運動の拡大、行動の自主性を誓っております。『抑止力』『核の傘』論、この地球を生命あるものの未来をしっかりと守るためにも努力したいものです。」2011年6月
船越 康亘 (全大阪借地借家人組合連合会会長)	2011年2月
前田 鉄雄 (全国福祉保育労働組合中央執行委員長)	「平和こそ最大の福祉」2011年6月
松浦 章仁 (国民救援会徳島県本部事務局長)	2011年6月
松崎 祐一 (広島交響楽団トランペット)	「平和な世の中になってこそ音楽は育ちます。核兵器のない世の中へ！」2011年2月
松下 宏子	「核兵器廃絶の署名運動に取り組みます。」2012年2月
松原 信也 (福井県革新懇事務局長)	2011年6月
松本 匡 (秋田県生活と健康を守る会会長)	2011年6月
松本 晴夫 (全日本年金者組合福島県本部執行委員長)	「殺人の道具は地上から一掃する。核兵器は一刻も早くなくす。」2011年2月
松山 萌子 (パッチワーク講師・八千代平和学習会代表)	2011年6月
三浦 深雪 (新日本婦人の会能代支部常任委員)	2011年6月
見上 浩 (八峰守る会会長)	2011年6月
三浦 章子 (北海道平和婦人会)	「東京大空襲で家を焼け出された時、私は17歳でした。それから戦争に反対、平和運動を続けて今、84歳。「核兵器、ゼロ」は平和運動の中心、カナメ、です。」2012年2月
三上 満	「この『アピール』は人類史的意義を持っています。心から賛同します。」2012年2月
宮腰 和生 (能代市平和委員会事務局次長)	2011年6月
茂垣 昌一 (NPO法人団員)	「全面的に賛成です。憲法九条の実践と受け止めていますので、大いに今後も力を入れて取り組んでいきたいです。」2012年5月
望田 幸男 (非核の政府を求める京都の会)	「『核兵器のない世界』とともに、『原発のない日本』の実現を念願します。」2012年2月
森 信雄 (奈良・JMIU東邦工機支部執行委員長)	2011年2月
夜久 修史 (奈良・大和郡山市労働組合協議会議長)	2011年6月
柳沼 光代 (福島県医療生協労働組合委員)	「人間の命を一番粗末にするもの、それは戦争です。人を殺すための兵器はあってはなりません。その中でも核兵器は人類を滅ぼします。一刻も早くなくさなければなりません。」2011年2月
山内 満 (秋田県革新懇筆頭代表世話人)	2011年6月

山野 寿一（全日本年金者組合福井支部長）	2011年6月
山本 和宏（千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長）	2011年2月
山本千代子（日本共産党阿北地区委員長）	2011年6月
山本 正美（徳島労連議長）	2011年6月
湯田 厚（会津地方労働組合総連合議長）	2011年2月
横山 新（奈良革新懇事務局長）	「核兵器全面禁止アピールに賛同します。」 2011年2月
吉田 博身（全漁連代表理事専務）	2011年6月
吉田 義之（福島県農協労連中央執行委員長）	「核兵器のない世界をめざし共に頑張りましょう。」 2011年2月
米田 吉正（日本共産党秋田県委員会委員長）	2011年6月
若木 由紀夫（秋田県高等学校教職員組合執行委員長）	2011年6月
渡辺 久（国民救援会坂井支部長）	2011年6月
渡部 雅子（全日本年金者組合秋田県本部執行委員長）	2011年6月